

令和元年度実施分
協働事業
市民活動助成事業
報告シート



松戸市

はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和元年度は3事業実施しました。

【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額10万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額30万円）」の2つの部門を設けております。

令和元年度は13事業（スタート助成10事業、ステップアップ助成3事業）実施しました。

目 次

令和元年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】	ページ
○ 災害時要配慮者支援事業	小金原地区会（小金原連合町会）防災部 危機管理課 1
○ 公共サイン改善事業	公共サイン研究会 都市計画課 2
○ 子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会 生涯学習推進課 青少年会館 3
【市民活動助成事業（スタート助成）】	ページ
○ 「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」 4
○ 学習支援と食の提供による子どもの居場所作り事業	まんぷく小屋 5
○ 子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり 6
○ 音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会 7
○ みんなで楽しもう秋のお出かけ事業	認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあい ネットまつど 8
○ 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業	松戸地域猫スタートサポート 9
○ プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学 10
○ マジック演技を通し高齢者に元気をあたえる事業	和気あいあいマジッククラブ会 11
○ 音楽活動による地域交流事業	Ensemble Ponte 12
○ 小学生の夢を育む放課後改革/情報サポート事業	MIRAIのしるし 13
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】	ページ
○ 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部 14
○ 生活圏に「お節介な友達作り」活動推進事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸 15
○ 市民の権利擁護に関する啓蒙普及事業	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 千葉県支部 16
● 協働のまちづくり基金について	17
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和元年度)	18

災害時要配慮者支援事業	団体名	小金原地区会（小金原連合町会） 防災部
	事業担当課	危機管理課

事業費	400,710 円	自己資金	40,936 円	負担金	359,774 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

協働事業2年目の活動として、要配慮者の中でも「乳幼児」にスポットを当てた活動を実施。

- (1) 「小金原地区防災フェア」開催（9月22日（日）） 写真左、中央参照

場所：小金原体育館、参加人数：約450人（スタッフ含む）、当日の来場者数：359人（内未就学児：34人）。



- (2) 「講演会」開催（1月12日（日）） 写真右参照 参加人数は約80名（スタッフ含む）。

演題：「災害時の『食』と『トイレ』」 場所：小金原市民センター2Fホール

講師：日本栄養士会 常務理事 下浦佳之氏 日本トイレ研究所 代表 加藤 篤氏

- (3) 「避難所部会」の活動

・根木内中、根木内小、栗ヶ沢中、栗ヶ沢小、貝の花小の「収容避難所運営委員長」と栗防（栗ヶ沢中学地域防災委員会）推進事務局を含めた打合わせ実施。（7月28日（日））

- (4) 「女性部会」の活動

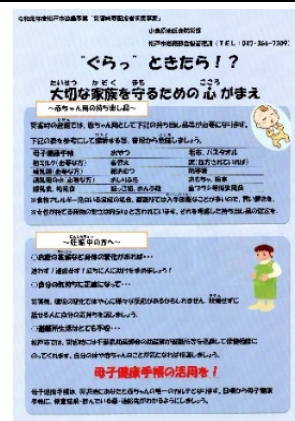
定期的に「ももの会」を開催（10回）し、地域防災に関する知識・情報・経験を共有。

- (5) 「要配慮者支援会議」の実施（2月20日（木））

地域福祉課／健康推進課／高齢者支援課／介護保険課／障害福祉課／子ども政策課／子ども家庭相談課／幼児保育課／危機管理課／防災部による「防災への取り組み」につき情報共有。

令和元年度（2019年度）事業の成果

- ① 「小金原地区防災フェア」では、参加人数：約450人（スタッフ含む）、当日の来場者数：359人（内未就学児：34人）と、親子で参加して防災意識を高め、体験する良い機会となった。
- ② 講演会「災害時の『食』と『トイレ』」に関し、展示ブースも含めた開催内容で、参加者は約80人（スタッフ含む）。アンケートも55人が提出し、「良かった」という評価が多かった。
- ③ 乳幼児を対象にした防災対策チラシ（右欄）を作成し、小金原地区内の保育所に配布した。



【団体紹介】

小金原地区会の中の組織。平成30年度から協働事業「災害時要配慮者支援事業」を推進中。

《問合せ先》 小金原地区会防災部 松戸市小金原6-6-2 小金原市民センター内
 小金原地区社会福祉協議会内 電話／FAX：047-348-7115
 Eメール：rbwwp146@yahoo.co.jp 小金原地区会防災部副部長 細田耕司

公共サイン改善事業	団体名	公共サイン研究会
	事業担当課	街づくり部 都市計画課

事業費	372,372 円	自己資金	36,901 円	負担金	160,441 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

■ 取り組もうとする背景・解決したい課題

松戸市内では駅前を中心として、景観の阻害や案内標識のわかりづらさといった課題があり、その背景には公共サインを含めた各種案内表示の乱立が挙げられる。また景観の改善だけではなく、地域のアイデンティティ創出の観点からも公共サインの改善は有用な施策となり得る。このことより、公共サイン改善事業では、公共サインの新設だけに囚われず、①市民と共に公共サインについて考えることを通して「今よりもっと住みやすい松戸」を考え、②イメージアップに繋がるサインガイドライン策定に寄与する資料・データの取りまとめを行い、行政及び市民へのフィードバックを行った。

■ 令和元年度の主な活動内容

市民を主対象としたワークショップ（以下WS、座談会とまち歩き）の実施や定期便の発行、HPによる情報発信、アンケート調査、他都市事例の収集などを行い、①平成30年度に引き続き、地域の歴史・文化・景観に着目した市民との対話の機会を設け、②市内外に囚われない多方面の調査による、松戸市のサイン整備にあたっての基礎資料（令和元年度末活動報告書）を作成することができた。



WSでの話し合いの様子



まち歩きの様子



サイン勉強会の様子

令和元年度（2019年度）事業の成果

【目標1：公共サイン定期便を年間4回以上発行する】⇒9・11・12・3月に発行し、達成できた。

【目標2：WSにて各地域共通のディスカッション項目を3つ以上設定する】

⇒歴史・文化・景観をテーマに座談会やまち歩きを実施し、目標を達成することができた。

【目標3：各地域のWSを計3回以上開催する】⇒「水とみどりと歴史の回廊マップ」に基づき対象地を選定し、昨年度実施の松戸、上本郷、矢切を除く、常盤平、北小金、南小金の3地域を対象地としてWSを企画した。その際北小金と南小金に関しては、JR線で分断された両地区を別に考えるのではなく、小金という地域で考えるべきと判断し、南北合わせてWSを開催し目標を達成できた。

【団体紹介】活動コンセプト：公共サインの改善を通して松戸のまちのジャンプアップにつなげる

単に「きれいに整える」ということを目指すのではなく、市民が松戸のアイデンティティとして認識するようなアイコンとなり、市の外へ松戸の魅力をアピールするツールとなり得るような、公共サインを通した「松戸のジャンプアップ」を目指しています。

《問合せ先》◇団体名：公共サイン研究会◇住所：松戸市松戸648 A棟3階

◇E-mail：publicsign.matsudo@gmail.com

◇ホームページ：https://matsudo-publicsign.amebaownd.com/

◇担当者名：池田 篤則（いけだ あつのり）

Check! ホームページ
のQRコードです! →



子どもたちがつくる 青少年会館居場所事業	団体名	だいすき松戸！子ども フェスティバル実行委員会
	事業担当課	生涯学習推進課 青少年会館

事業費	262,383 円	自己資金	28,383 円	負担金	234,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

協働事業3年目（最終年）として、体験を通じて子ども同士がつながる取り組みへの必要性に応えるよう、以下の3つを目的に事業を実施しました。

- （1）小学生同士のつながり・仲間づくりを目指す「サンマ（時間・空間・仲間）」の提供
- （2）子どもに関わる担い手育成による持続的なコミュニティ形成
- （3）青少年会館という拠点を核とした世代間交流

事業の1つ目の柱である「子どもに関わる担い手育成プログラム」では、クイズ大会を体験して、小学生向けに自分たちで企画するプログラムを中高生・学生対象に開催し、企画・実行しました。

「子どもとの体験プログラム&ロビーワーク」は、夏休み期間（15プログラム）と、秋の文化祭・春のアートパフォーマンス祭りに向け実施しました。残念ながらアートパフォーマンスまつりは新型コロナウイルスの影響で発表自体は中止となったものの、協力団体を順調に広げ、顔なじみの関係が増えるとともに、はじめて来る子どもたちもつながれるようなプログラムを実施できました。



令和元年度（2019年度）事業の成果

①子どもに関わる担い手育成プログラムは、青少年会館事業と連携して夏休み期間に実施、全体で延べ43名が参加しました。小学生向けクイズ大会は、延べ19人の企画者として中高生のボランティアが参画し、当日も司会・運営共に担うなど、最大の成果を得ることができました。また、11月開催の子どもフェスティバルにおいても、28名のボランティア参加につながりました。

②子どもとの体験プログラム&ロビーワークも3年目を迎え、昨年より多少少ないものの延べ300名を上回る結果となり、例年協力いただいた団体・子どもたちも良い関係性を築けています。

【団体紹介】

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会は、市内の子どもの育ち・学びに関連するNPOのネットワーク組織です。これまで秋を中心に17回、小学生を対象にした遊びと、中学生～学生世代のボランティアマッチングをしたフェスティバルを、青少年会館と共に開催してきました。

《問合せ先》

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会（松戸市馬橋 2855-407・NPO法人子どもとまつど内）
080-5086-4912、office@copatee.net、担当＝小熊 浩典

「甚左衛門の森」 保全育成事業	団体名	松戸里やま応援団 「甚左衛門の森の会」
--------------------	-----	------------------------

事業費	116,319 円	自己資金	16,319 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

松戸市の残存森林の保全活動が当事業の主な目的である。松戸市みどりと花の課の支援を受け、松戸里やま応援団の1グループ組織として、高塚新田地区の森林にてボランティア活動を行っている。

具体的な活動内容は、雑草木の刈払い、立ち枯れ・倒壊木の片付け、遊歩道の設営・整備、及び不法投棄された粗大ごみ、産廃ごみの回収・撤去などである。

この活動により、樹木や生物の多様性の維持・回復をはかり、松戸市の自然環境の保全に寄与する。

4月：4/20、4/24「オープンフォレスト in 松戸 2019」にて、森の公開と紹介（来森者数 22人）

6月、12月：不法投棄ごみを、みどりと花の課の協力を得て、市回収車による特別回収の実施

8月：松戸市市民自治課による当森の中間状況視察、カブトムシ孵化場設営（12月森内発見の幼虫投入）

9月～：台風15号、17号による倒壊木の処理（道路沿い、隣地への倒木を優先して開始）

10月：ちば里山センター企画「大径木伐倒安全講習会」への会場提供と開催支援（参加者数 36人）

2月：千葉県里山協議会による「樹木密度、竹林の除去伐採状況」の確認と調査

3月：繁殖期に備え、鳥の巣箱設置（餌台、観察台は設置済み）、樹名板の作製と取り付け開始



オープンフォレスト in 松戸
バードコールとハンモック遊び



ちば里山センター企画
「大径木伐倒安全講習会」



不法投棄・産廃ごみの回収

令和元年度（2019年度）事業の成果

1. 国が定める森林密度（森全体の30%）まで伐採⇒昨年度と合わせ2年で20%（0.2ha）達成
2. 森内の竹林を適正数（竹林面積の30%）まで伐採⇒昨年度と合わせ2年で20%（約340本）達成
3. 希少植物（キンラン、ギンラン、ヤマユリ）の保護エリア作成⇒今年度は新発芽が無く未達成
4. 「オープンフォレスト in 松戸 2019」で森の公開と紹介⇒4/20、4/24実施（来森者数 22人）
5. 「H31年度（2019年度）版 森のチラシ」作成と新会員募集⇒1,000枚作成、新会員の応募は無し

【団体紹介】

松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

東松戸駅から徒歩15分の高塚新田地区の約0.9haの森（甚左衛門の森で2017年7月から保全活動を行っている。他の里山応援団の森に比べるとまだまだ未整備ですが、明るい森になって来ました。

◇活動日：2回/月（第2、第4水曜日） ◇メンバー数：9人（平均年齢66歳）

《問合せ先》代表 村井行雄 電話：047-342-6261 FAX：（同左）

e-mail:murayukio0727@tb3.so-net.ne.jp

<p>学習支援と食の提供による 子どもの居場所作り事業</p>	<p>団体名</p>	<p>まんぷく小屋</p>
-------------------------------------	------------	---------------

<p>事業費 117,156 円</p>	<p>自己資金 17,156 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

- ・地域の子ども達それぞれが学びたいことをサポートしながら、調理体験、課外活動、多世代での食事、食後の団らんや遊び等、地域の市民活動ならではの子どもの居場所作りを週1回のペースで行って来ました。
- ・学校に行きづらい子や孤食の子などにリーチするために、中学の校長先生・教頭先生やスクールソーシャルワーカーの先生方の訪問をした結果、冬休みの居場所としてカウンセラー便りに掲載してもらい、3つの中学で配布してもらえました。
- ・子どもが集まりそうな場所でイベント(出張子ども食堂&0円マーケット)を2回行い、アピール活動をしました。
- ・不登校児を支援する団体の勉強会参加、地域の子ども支援団体の交流会参加などを積極的に行い、相談したり、連携をとれるようにしました。
- ・地域のボランティア希望者への広報として、郵便局、市民センターなどへのポスター掲示、常盤平団地新聞・広報まつでの呼びかけ、子ども食堂ネットワーク HP への掲載、ブログの更新に力をいれ、ボランティアの希望や寄付も増えました。
- ・制服リサイクルに関しては0円マーケットとして提供しました。
- ・コロナの問題がでてからは、可能な限りは家で焼きそば等をして、密室にならないよう配慮した上で、出来るだけ食事の提供を続けられるように努力しました。またご寄付頂いた餅やパンなど調理せずに済むものは、スタッフで手分けして必要な家庭に毎週配達しました。



令和元年度（2019年度）事業の成果

- ① 学習支援と子ども食堂の実施 34回 子ども189人 大人25人
- ② 課外活動 1回(ビーチクリーンと水族館見学)子ども5人参加
- ③ 出張子ども食堂の実施 4回5人 子ども55人大人5人参加
- ④ 0円マーケット 1回

活動の様子⇒



【団体紹介】

宿題サポートや学びなおしの勉強タイムと、大家族のように皆で食卓を囲む団らんの時間を提供しています。R2年度は開催曜日を調整中のためお問合せください。

《問合せ先》

まんぷく小屋

📍松戸市常盤平 代表宅にて ☎090-2223-7035 ✉manpukukoya@gmail.com

http://ameblo.jp/manpukukoya/ 担当:中村

<p>子育てが楽しくなる 地域コミュニティ事業</p>	<p>団体名</p>	<p>なないろのもり</p>
---------------------------------	------------	----------------

<p>事業費 258,430 円</p>	<p>自己資金 158,430 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

- ① 夏まつり・クリスマスフェスティバル・冬の体験会の3つのイベントを開催しました。
各イベントチラシの配布を市内や近隣の小中学校、保育園、幼稚園など20校にご協力をいただくことができ、また近隣の商店や企業にご協賛いただいたおかげで、3つのイベントの参加人数は、延べ990名となりました。
- ② 長期休みに安心して通える場所として子ども達に継続して参加いただけるような会員制度の構築と団体の運営などに関わっていただけるような協力者を募集しました。



夏まつり・パン教室



クリスマスフェスティバル



冬の体験会

令和元年度（2019年度）事業の成果

イベント参加者の数は、イベント当日の天候やインフルエンザの流行などで悪条件の中ではありましたが、当初の目標の達成率は約7割強となりました。しかし、会場全体に目が行き届き、来場者とのコミュニケーションが図れるなどの利点も多く、各所からご好評をいただきました。

昨年のイベントで、特にクリスマスフェスティバルには予想を超える人数の方々にご来場いただきましたが、お子さん達の舞台を見学する方々のマナーやご来場の方々の駐車場利用について注意喚起が徹底できなかったなどの反省点がありましたが、本年度はこういった反省点が改善されたことから、安全かつ適切な人数での開催であったと思われまます。

会員募集に関しては、新型コロナの影響により、予定していたイベントの中止で、リーフレットの配布などが止まってしまっていることもあり、来年度への課題となっています。

【団体紹介】

子育てが楽しいと感じる街づくりを目標に、親子で一緒に楽しめ人と人が繋がれるイベントを開催しています。地域と繋がり、今しかない子育ての時期を楽しめる環境づくりを目指して活動しています。

《問合せ先》

団 体 名 : なないろのもり
 Eメール : 7iromori@gmail.com
 ホームページ : <http://7ironomori.jimdo.com/>

音楽活動による 街の活性化事業	団体名	松戸音楽活動同好会
--------------------	-----	-----------

事業費	176,338円	自己資金	76,338円	助成金	100,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

- ① 音楽を通して高齢者や障害者の居場所作り：
音楽イベント主催や介護・障害者施設訪問音楽活動で高齢者・障害者に大変喜ばれ、演奏を聴いて戴き、一緒に歌う等の音楽を楽しんで戴く活動を通して居場所作りの支援ができました。
- ② 音楽活動で高齢者や障害者に「元気と勇気」の伝達：
参加者と感動を共有し充実感や活力を得ることにより、元気と勇気を届けることができました。

松音 音楽を楽しんで歌いつなごう




Vol1 19年 5月12日
Vol2 19年 8月25日
Vol3 19年 11月17日
(Vol4 20年3月1日中止)

松音サロン

矢切に音楽サロン開設
音楽に触れあいました。

第1回 10月9日
第2回 12月19日
第3回 1月30日



まつど市民音楽祭

'19年6月23日（日）
10:00 開会～15:10 閉会
会場 まつど市民活動サポートセンター
[第三回] 10団体の音楽祭典



器楽アンサンブル オペラ歌手熱唱

公開講座

歌声練習主催
楽しく指導をうけました。

♪ 19年 7月31日
♪ 19年 8月 7日
♪ 19年 10月30日
♪ 20年 2月22日

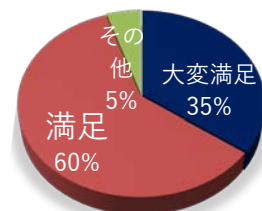
**施設訪問
音楽活動
年間 38回**



令和元年度（2019年度）事業の成果

主催	事業回数	事業参加者・対象者延べ人数
目標	50回	1,150名
成果	49回	2,052名
	（施設訪問 38回 音楽イベント11回）*中止1回	（施設訪問1,181名 音楽イベント871名）

音楽イベント満足度



*イベント参加者のアンケート集計による

【団体紹介】音楽で街を人を元気に音楽があふれる街をめざして楽しく活動しています

《問合せ先》

松戸音楽活動同好会 ☎ FAX : 047-365-5236 メール : matsudo.ongaku.kd@gmail.com

<https://www.facebook.com/matsudo.ongaku.kd>

（代表）武石 章作

<p>みんなで楽しむ 秋のお出かけ事業</p>	<p>団体名</p>	<p>認定特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど</p>
-----------------------------	------------	---

<p>事業費 148,178 円</p>	<p>自己資金 49,178 円</p>	<p>助成金 99,000 円</p>
----------------------	----------------------	---------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

○地域共生社会と言われるが、なかなか、健常者が高齢者や障がい者と一緒に過ごすなどの交流の機会が少ないと思われるとともに、高齢者や障がい者もたまには外出したいというニーズもあると思われます。一般市民、高齢者、障がい者、子どもといった多世代の皆さんと一緒に秋のお出かけ（小旅行）を企画・実行し、交流し心豊かな社会づくりの実現に寄与することを目的に行ないました。

○9月から公募し、9月下旬 市民ボランティアを対象とした説明会を実施。事業の説明と簡単な車椅子介助の説明を行いました。



○10月19日 観光バスにて「みんなで楽しむ秋のお出かけ事業」を実施。茨城県の牛久大仏・阿見アウトレットモール・麒麟ビール取手工場を訪問しました。



○高齢者や障がいをお持ちの方からは、遠方の外出ができて良かったとの感想があった。また、車いす利用者とその家族からはゆっくりとした行程でかつ、市民ボランティアが車いすを押していただけるなど大変助かりました、などの意見があり、当事者が外出する新たな機会になりました。

一部の市民ボランティアには当会協力会員になる人、会員になるわけではないが、イベントに参加・手伝うなどでの関わりができました。

障がいをお持ちの方と、市民ボランティアの方が、交流する良い機会となりました。

令和元年度（2019年度）事業の成果

【参加人数】

当会ボランティア15名（目標25名）
 当会利用会員（高齢者・障がい者）9名
 市民ボランティア11名（目標11名）

○市民ボランティアへの参加者募集は、市民センターなどの公共施設への配架・掲示、ホームページなどのウェブ媒体を活用して募りました。参加者が増えなかったのは、当日の天候を気にされての欠席などが考えられました。
 ○障がいをお持ちの方が4名、そのうち車椅子利用者は1名でした。

【団体紹介】

高齢者、障がい者、子どもをはじめ地域に住む誰もが持っている「住み慣れた街で自分らしく人間らしく暮らしたい」という願いを実現するため、

1. 手助けを必要とする人へ困ったときはお互いさまの精神でたすけあい活動に取り組みます（対人援助活動）
2. 支え合い助け合いのある地域社会づくり活動に取り組みます（社会活動）

《問合せ先》

団体名：認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

住所：千葉県松戸市金ヶ作99-6 電話047-710-7450/FAX047-710-5940

Eメール：fnm2011@r4.dion.ne.jp HP <http://fnm2011.okoshi-yasu.com/> 担当者：細嶋

<p>野良猫捕獲と不妊手術の 悩み解消！ 地域猫スタートサポート 相談会事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸地域猫スタートサポート</p>
---	------------	----------------------

<p>事業費 190,166 円</p>	<p>自己資金 90,166 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

国・都道府県・市町村が屋外猫を減らすという『地域猫活動』を推進しているにも関わらず、未だ多くの市民の皆様が地域猫について知らないという現状でした。

当団体は1年間かけて松戸市内の市民センターを中心に21箇所の公共施設を回り、セミナー・相談会を開催いたしました。

セミナー・相談会を通じて、市民の皆様当団体の活動を、もっと周知なくちゃいけない、知ってもらわなければ成功ではないと伝わってきました。



【参加や連絡を頂いた方から団体への要望と回答】

- ① チラシや広報誌だけではなく大胆に周知をして欲しい。
→2020年度も引き続き助成事業として活動致しますので、新しい行動を考えています。
- ② 行政に市民の意見を伝えて欲しい。
→団体設立以前から当事業の開始後も市役所の各関係課の皆様御協力を頂いて活動が出来ています。皆様の御意見は各関係課へきちんとお伝えし、話題にして下さっています。
- ③ 多くの市民の方との交流の場を作って欲しい。
→長期にわたり開催していますので、既にお悩み解決や情報交換の場など、皆様が集まる場所としても活用して頂いています。
- ④ 困っている現場を見て欲しい。
→セミナー・相談会に参加された時に、近所の方とお知り合いになられて一緒に活動するというチームができていますし、ご要望があれば当団体も現場を拝見しています。



松戸市民会館に約30名の方が来てくれました。

令和元年度（2019年度）事業の成果

2019年度のセミナー・相談会は合計21回の開催で参加人数は延べ169名が参加され、目標100人を超えて成果を出せました。参加者アンケートでは90%以上の方から「参加してよかった」と回答いただき、参加された方も参加できなかった方からも、もっとこの活動を多くの市民に伝えてほしいと意見をいただきました。

【団体紹介】

『猫が好きだから、嫌いだから、気にもしていないけど』と考えるのではなく、自分達が住む環境問題として、ご近所トラブルにもなってしまう屋外猫が増えないように、そして子供達へ命の大切さの教育や心の余裕の育成、治安悪化防止と幅広く考えて、安全に安心して暮らせる街づくりを、松戸地域猫スタートサポートは動物の命の大切さから進めていきたいと考えています。

《問合せ先》

松戸地域猫スタートサポート 電話：080（3405）8986 担当：川野 ひろし

LINEQRコード：情報はこちらから→



プレママ教室事業	団体名	ぶぶぶママ大学
----------	-----	---------

事業費	142,007円	自己資金	42,007円	助成金	100,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

○事業計画【第1期を6～7月、第2期を10～11月、第3期を2月に開催】

市内地区別で参加者を募集する計画でしたが、東松戸地区で参加申込がなかったことから、地区別から開催時期をずらして年に3回開催に変更しました。

○プレママ教室の内容【各期全4回の講座型で開催】

第一回「母乳育児について」、第二回「愛着形成について」、第三回「マタニティヨガ」、第四回「赤ちゃん和家人のお祝い行事について」開催。（年間の参加実数は31人。参加延べ実数は50人）

○講座

母乳育児に特化した助産師さんから母乳育児が軌道に乗る為の情報を話ししていただきました。

先輩ママの経験談では産婦人科医でお子さんを母乳育児しているお母さん、保育士で2歳のお子さんを母乳育児しているお母さんから、母乳育児に役立つ知恵や子どもとの関係性について話ししていただきました。また、プレパパさんに向けて、こんな対応が嬉しく助けられたというお話しもしていただきました。

愛着形成や赤ちゃんの発達や子どもの生活リズムと睡眠の大切さを保育士からお話しし、印象に残るよう紙芝居風の愛着カードを作り、みていただきました。

マタニティヨガでは運動不足の解消と心身のリフレッシュができるよう良いお産が良い子育ての一步になるため、日常にセルフケアを取り入れていただけたらとヨガ体験をしていただきました。

赤ちゃん和家人のためのお祝い行事では、金ケ作熊野神社の宮司さんから、行事の習わしや意味などをお話ししていただきました。



令和元年度（2019年度）事業の成果

毎回アンケートを実施し、5段階評価は4.79と高評価をいただきました。

アンケートには、「4回フル出席できて良かった」「母乳育児してみたいと思った」「ヨガが気持ち良かった」「パパ大学も希望」「お祝い行事のお話しが参考になった」などの声があり、参加者から出産の報告や「母乳育児に役立っています」「神社のお話しが楽しかったので、初参りもして来ました」などのメールもいただきました。

産後すぐに始まる母乳育児の知恵を習得し、愛着形成は日頃の赤ちゃんのお世話から愛着が形成されることを知り、先輩ママの経験談からはたくさんの子育ての知恵を聞き、マタニティヨガでは心地よく身体を動かして、セルフケアを知り、産後に向けての予習のような回になったと感じています。

【団体紹介】

プレママたちを応援する団体です。もちろんプレパパの参加も大歓迎。

良いお産が良い育児のスタートとなることから、より良い出産に向けて、また育児に役立つ、プレママ教室を企画・運営しています。

《問合せ先》ぶぶぶママ大学 HP <https://www.bububumamadaigaku.com/>からお願いします。

マジック演技を通し高齢者に元気をあたえる事業	団体名	和気あいあいマジッククラブ会
------------------------	-----	----------------

事業費 176,248 円	自己資金 76,248 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

○事業目的

マジック演技を高齢者施設・公共施設等で披露し、高齢者の方々と“楽しみ”を共有する活動。マジックは身近な物を利用し、観るだけでなく、一緒に参加できるような演目に心がけ、入居者や施設利用者の方々に楽しんでいただき、加えて我々自身の健康維持をも目標にした活動を目的とする。

○演技風景



お客様に参加をしていただき、一緒に楽しみました。

あら！ おや！ 不思議！ そして拍手・拍手 時にはアンコールもありました。

嬉しそうな様子に、部員もやりがいを感じました。

令和元年度（2019年度）事業の成果

項目	目標	実績
活動出前公演回数	10回	15回
お客様人数	400人以上	735人
出演回数1人7回	延70人	延80人
練習回数	24回	21回

出前公演は大幅に目標を上回ることが出来、そして大変好評をいただきました。

練習回数のみ目標未達となりましたが、新型コロナウイルスの影響で自粛した為です。

【団体紹介】

「箸を持てれば誰でも出来ます。楽しい仲間を作りましょう」。を合言葉に、マジックの習得と演技ボランティア活動を展開、会員相互の健康維持並びに親睦を図っています。

月間2回（第2・第4木曜日 午前中）の練習。 現在会員：12名

《問合せ先》

団体名：和気あいあいマジッククラブ会

住所：松戸市八ヶ崎7-16-29

電話：090-3339-1556

代表者：柳沢 光男

見学自由です。お気軽に連絡下さい。

音楽活動による地域交流事業	団体名	Ensemble Ponte
---------------	-----	----------------

事業費	257,222 円	自己資金	157,222 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

市民センターでの歌声コンサートを企画し開催した。
 ※主な開催場所…馬橋市民センター・小金市民センター



市民が世代を問わず一緒に楽しめる環境づくりを目的とし活動を行った。
 ※唱歌・民謡・歌謡曲・洋楽・クラシックあらゆる楽曲を取り入れ、歌詞カードを配布し演奏者と一緒に歌うことが出来る参加型のコンサートを開催。
 夫婦で参加する人・友人と参加する人・コンサートを通して会話をするようになった人・親子連れ・障害者施設、介護施設の利用者の方々。多くの人の外出するきっかけ作りになることが出来たとともに、コンサートを通して音楽の大切さや活動の必要性を感じる事が改めてできた。
 今後も、認知度向上に努め Ensemble Ponte の音楽を参加者へ届けることが出来るよう活動していきたいと思う。

令和元年度（2019年度）事業の成果

- ① 歌声コンサートの参加人数を増やすことができた。※平均参加人数40人（前年度より10人増）
- ② コンサートでアンケートを実践。満足度80%以上⇒満足度90%達成
 - ・参加者の楽曲リクエストや満足度の調査を行い、意見を取り入れ満足度を向上させた。
- ③ 広報活動に尽力し、団体及びコンサートの認知度を高めた。
 - ・無料掲載誌や広報まつどへの掲載を取り入れ、チラシの配布枚数を600部以上に増やすことで多くの人の目に留まるようにした。
- ④ 参加者の希望に沿った楽曲を提供した。
 - ・コンサートを通して参加者とのコミュニケーションを多くとるように心掛けた。終了後など会話を大切に参加者の声に耳を傾け情報収集を行った。
 - ・1回のコンサートで2曲は希望の楽曲を取り入れた。※リクエストは、合計10曲演奏した。

【団体紹介】

市民センターや福祉施設等で演奏会を行う。演奏を聴いたり一緒に歌ったりする企画を開催し、参加者の集いの場となる空間を提供することで地域の交流を図る団体。
 演奏会に参加して下さる方たちと一緒に楽しい時間を、笑顔になれる空間を作れることを目標に演奏会を行っています。沢山のご参加お待ちしております。

《問合せ先》 Ensemble Ponte(アンサンブル ポンテ)

電話：080-5541-4283 Fax:048-235-2449 Mail:ponte.music@gmail.com 担当者：城岡^{しるおか}まりも

<p>小学生の夢を育む放課後改革 /情報サポート事業</p>	<p>団体名</p>	<p>MIRAI のしるし</p>
------------------------------------	------------	-------------------

<p>事業費 107,966 円</p>	<p>自己資金 24,923 円</p>	<p>助成金 83,043 円</p>
----------------------	----------------------	---------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

■ 子どもの体験プログラム・ワークショップの企画・実施

①小学生を対象にお仕事体験の2日間ワークショップを夏休み期間に実施

テーマ：「体験！メニュー開発 ～ホテルの朝食メニューを作る！～」

②みらいフェスタでの子どものお仕事体験企画（子どものまち「はたらく&つかう」）

――→新型コロナウイルス感染拡大防止対応により、企画途中にて実施キャンセル

■ ボランティアグループへのフレームワーク/プログラム開発・実施サポート

今までの実施企画をノウハウとして取りまとめ文書化

■ 放課後の課題抽出・ニーズ把握のためのアンケート実施

小学生とその保護者に対し、放課後の過ごし方や学校外での活動状況・課題を抽出



令和元年度（2019年度）事業の成果

子どもの体験プログラム・ワークショップ2企画のうち、メインとなる夏休みのメニュー開発ワークショップは前年（6名）より参加規模が倍以上になりました。児童14名に加え、高校生・大学生ボランティア4名に参加いただきました。体験プログラム2企画目は春休み時期開催の「みらいフェスタ」内コンテンツとして企画するも、残念ながら新型コロナウイルス対策によるイベント中止により実現できませんでした。

前年含め実施したワークショップ等、子ども向けプログラムのフレームワークは取りまとめを完了しました。まつど市民活動サポートセンター他、発表・講演の場を2回いただいたものの、放課後活動におけるアンケート結果を含む情報発信の定常的な場が未だ用意出来ていないことは引き続きの課題となりました。

【団体紹介】

小学生の放課後に、夢や興味を刺激する経験活動・ワークショップを実施しています。地域のチカラで、子どもも大人も“世界が広がる社会”を目指します。

《問合せ先》

MIRAI のしるし

info@mirainoshirushi.com

facebook.com/MIRAIInoShirushi/

担当：伊藤

笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	団体名	浅間台笑劇研究部
--------------------	-----	----------

事業費	400,642円	自己資金	100,642円	助成金	300,000円
-----	----------	------	----------	-----	----------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】

1. 高齢者福祉施設でのボランティア公演の実施

① 高齢者施設でのボランティア公演	高齢者施設等 12 会場で 13 回のボランティア公演を実施した。
② 松戸市民劇場でのボランティア公演	2020年1月29日に実施。満席の高齢者に楽しんで頂いた。

2. 松戸市民劇場でのボランティア公演の報告

開催	実施プログラム	観客と評価
◆ 日時：2020年1月29日 13:00 開演 ◆ 場所：松戸市民劇場	◆ 笑劇 2 プログラム ◆ 浅間台コーラスクラブ ◆ 船橋新高根ばか面踊り友の会	◆ 300名（満席） ◆ 85%が「よかった」の評価 ◆ 70歳以上・女性が多かった
アンケート：一言ご感想を ◆ 「楽しかった・素晴らしい」 48 ◆ 「是非継続してください」 22 ◆ 「出演者が生き生きしている」 12 ◆ 「全体の構成がよかった」 10 ◆ 「ありがとうございました」 9		
		

令和元年度（2019年度）事業の成果

事業の具体的目標	評価対象	目標	実績	達成率
① 多くボランティア公演を行う。	施設公演回数	10回	13回	130%
② 多くの高齢者の方々に見て頂く。	施設延観客数	200名	540名	270%
③ 施設公演時にいい評価を頂く。	アンケート評価 A	70%	85%	121%
④ 松戸市民劇場でボランティア公演を行う。	観客数	100名	300名	300%
⑤ 新プログラムを開発する。	開発数	1本	1本	100%
⑥ 練習を多く行う。	練習回数	12回	25回	208%

【団体紹介】

千葉県生涯大学校の同窓生を中心に 2016 年に発足、笑劇のボランティア公演を行い、笑いで高齢者を元気にすることを活動の目的とした、**シニア素人劇団**です。

《問合せ先》

- 部長 砂永 宏
- 幹事 神原 頼男
- URL <http://asamadaishowgeki.deca.jp>



<p>生活圏に「お節介な友達作り」活動推進事業</p>	<p>団体名</p>	<p>介護・認知症の家族と歩む会・松戸</p>
-----------------------------	------------	-------------------------

<p>事業費 255,154 円</p>	<p>自己資金 55,154 円</p>	<p>助成金 200,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】



生活圏に「お節介な友達づくり」活動推進事業 介護認知症の家族と歩む会・松戸
我々の活動は、高齢社会で最も必要とする互助の精神の再生を目指しています。

「認知症でどんな病気？」「認知症は改善する」「情報はどこでもらえるの？」「誰に聞けばいいの」をテーマに、おしゃべり広場・認知症講座・ワークショップ・相談会・交流会・訪問相談を認知症本人と在宅介護家族が抱える不安や混乱・恐怖の軽減と同時に「お節介な友達」の参加を願い定期開催しました。



令和元年度（2019年度）事業の成果

おしゃべり広場 身近な話題を気楽に話し合う場の提供 開催 11 回 参加者 24 人
～相談会・交流会 繋がることのできた家族の方々から地域交流の輪を期待 開催 15 回
参加者 67 人
～講座・ワークショップ 知識・情報以上に「不安混乱・恐怖」への理解・共有
開催 11 回参加者 134 人 ～訪問相談（個人宅） 36 件 参加者 141 人
新しいお節介友達 9 人

【団体紹介】

講座やワークショップで体験していただく「かがみ遊び」で潜在意識に気づき、「宝探し」で前向きな生き方の第一歩として 参加者に興味を持っていただいています。
《問合せ先》

介護・認知症の家族と歩む会・松戸
松戸市松戸 1139-1-808
電話：090-5509-5398 メール：ao31212@s6.dion.ne.jp
世話人代表 北川邦彦

<p>市民の権利擁護に関する 啓蒙普及事業</p>	<p>団体名</p>	<p>一般社団法人コスモス成年後見 サポートセンター千葉県支部</p>
<p>事業費 277,624 円</p>	<p>自己資金 84,082 円</p>	<p>助成金 193,542 円</p>
<p>令和元年度（2019年度）事業の取り組み【報告】</p>		
<p>「人の死」にまつわる様々な問題について法律や医療の専門家から講義をいただくとともにワークショップを通じて参加者に理解を深めていただくことを目的とし、以下のような内容を実施した。</p>		
<p>（1）新松戸地域での実施 （新松戸地域包括支援センターと連携）</p>		
<p>日時：令和1年5月28日（火）10:00～11:30 場所：新松戸市民センター 第2会議室 講師：あおぞら診療所新松戸 医師 星野大和氏</p>		
<p>（2）松戸本庁地域での実施 （本庁他5地域包括支援センターと連携）</p>		
<p>日時：令和1年6月4日（火）13:30～15:30 場所：松戸市民会館 201会議室 講師：東葛総合法律事務所所長 弁護士 蒲田孝代氏</p>		
<p>（3）常盤平地域での実施 （常盤平及び常盤平団地地域包括支援センターと連携） 日時：令和1年6月15日（土）14:00～16:00 場所：常盤平市民センター ホール 講師：三和病院顧問 医師 高林克日己氏</p>		
<p>令和元年度（2019年度）事業の成果</p>		
<p>特に関心の高い「介護」「医療」「死亡時の手続」「死後の事務」の問題について、専門家から現場での事例を交えながらわかりやすい講義をいただき、またワークショップを通じて、こうした問題にどう向き合うかということについて参加者の理解を深めることができた。</p>		
<p>参加者数は実施3会場の合計で132名（新松戸：35名、本庁：26名、常盤平：71名）。エンディングノートの配付数も合計308冊と、当初の予定を達成することができた。</p>		
<p>【団体紹介】</p>		
<p>平成25年10月25日設立。会員数は101名、全員が行政書士の資格を有する。</p>		
<p>市町村他地域包括支援センター等公共の機関からの相談対応、高齢者等の財産管理・身上保護に関する直接支援、支援者に対する相談・支援事業を主たる活動とする。</p>		
<p>《問合せ先》</p>		
<p>一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部</p>		
<p>〒277-0025 千葉県柏市千代田3丁目15番29号</p>		
<p>電話 04-7169-1111 FAX 04-7169-1111</p>		
<p>Eメール taira.homeoffice@gmail.com URL http://www.cosmos-chiba-koken.net/</p>		
<p>担当者 松戸管轄長 平 航人（たいら こうと）</p>		

協働のまちづくり基金

令和元年度は 市民活動助成事業

13事業 を応援しました!!

スタート助成				
「甚左衛門の森」 保全育成事業 P. 4	学習支援と食の 提供による子ども の居場所作り 事業 P. 5	子育てが楽しく なる地域コミュニ ティ事業 P. 6	音楽活動による 街の活性化事業 P. 7	みんなで楽しもう 秋のお出かけ 事業 P. 8
野良猫捕獲と不 妊手術の悩み解 消！地域猫スタ ートサポート相 談会事業 P. 9	プレママ教室 事業 P. 10	マジック演技を 通し高齢者に元 気をあたえる 事業 P. 11	音楽活動による 地域交流事業 P. 12	小学生の夢を育 む放課後改革/情 報サポート事業 P. 13
ステップアップ助成				

笑劇で施設利用高
齢者を元気にする
事業

P. 14

生活圏に「お節介
な友達作り」活動
推進事業

P. 15

市民の権利擁護に
関する啓蒙普及
事業

P. 16

【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

HP松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ 協働のまちづくり基金

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html

令和元年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧 (敬称略)

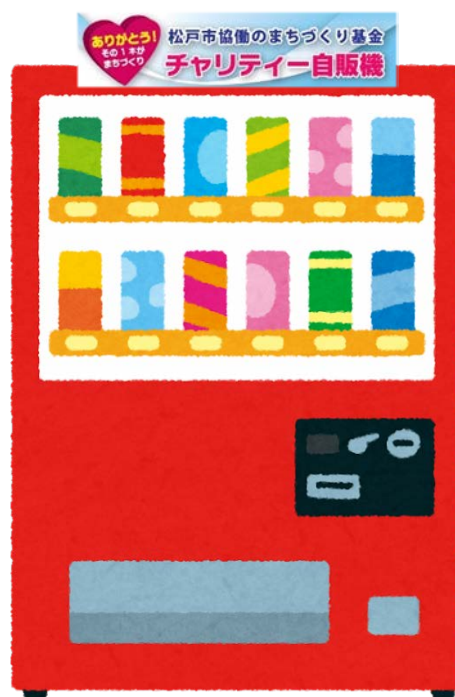
ご寄附頂きました皆様
にお礼申し上げます。

東京キリンビバレッジ株式会社

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

洗濯屋あべ

※公開希望のみ掲載



令和2年6月

発行

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7318

FAX 047-704-4009

E-mail mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp